

山 ゆ り

11 - 12 月号 No398 2021 年 11 月 1 日

初号発行:1972 年 12 月 25 日

山ゆりの会

年会費 1000 円 (郵便口座 00230-2-42601)

〒242-0026 大和市草柳 1-3-201 草野正昭

Tel/Fax:046-260-6515 メール:VZM03024@nifty.com

URL : <http://yamayuri.d.dooo.jp/>



10 月山行報告

■ 10 月 17 日 : 東海道ウオーキング 二宮から国府津

参加者 : 稲本 小野寺 曾根 浜田 浜田
稲田 加藤 菅野 遠藤 香取 豊留
長谷川 松田 草野 (14 名)

●気圧の谷が通過して雨は避けられるかと期待したけれど、やはり予報通り雨。その雨の中二宮駅に 14 名もが集合ちょっとびっくり。駅前の「ガラスの兎」像前で全員で記念撮

影後 30 分ほど雨の止むのをまって出発。

国道 1 号東海道にでてすぐ雨は止み傘は不要に。国府津までの 6 km の間に旧道が二か所あり旧東海道の名残りが何か所かある。江戸より 18 里の旧東海道・押切坂の一里塚は往時を偲ばせる。

松屋本陣跡はモダンな住宅があって看板のみで本陣の面影は全く無いが、この辺りは、大磯宿から小田原宿間 16 km の中間にあつて上、押切坂や酒匂川を前にしていることから間の宿 (あいのしゆく) として休憩所が設けられ、大友屋・蔦屋・釜成屋など多くの茶屋や商店が軒を並べ、「梅沢の立場」と呼ばれ大変賑わっていたという。その中心がこの「松屋本陣」で、参勤交代の諸大名や宮家、幕府の役人などの特権階級に当たる人の休憩所として利用されていたという。

この辺りは相模湾に沿っていて標高が 10 m 以下と低い所も多くところどころ路上に「津波浸水想定区間」の表示が見られる。しばらく歩くと「史跡・車坂」の碑が立つ。ここらあたりの風景を読んだ和歌が三句看板にありこのあたりが和歌に詠まれるほどの風景であった証なんだろうか。



・鳴神の声もしきりに
車坂とどろかしふるゆ
ふ立 (夕立) の空
(平安紀行 太田道灌)

・浜辺なる前川瀬を逝
く水の 早くも今日の
暮にけるかも (吾妻鏡
源 実朝)

・浦路行くころぼそさを波間より出でて知らせる 有明の月（十六夜日記北林禅尼）

旧大山道の標識を過ぎそろそろお昼かと思っていたところ、丁度良い所に浅間神社を見つけ神社の軒下の広い濡れ縁で雨宿りをしながら昼食休憩に。

昼食後はまだまだと思っていたが1時間も歩かないうちに国府津駅に到着1時半。あまりに早いので駅前営業中の居酒屋「しょうや」がありなんと全員で反省会。昔は解散後の居酒屋立ち寄り習慣のごとくだったが久しぶりである。長谷川さんや菅野さんなどの懐かしい顔もあってまるで同窓会のように、楽しいひとときでした。

9月初めの雨飾山登山の下りで不覚にも足首を骨折、ギブスが取れて1週間後のウォーキング、全て平坦な道で何とか歩き通せたけれど私のペースで歩いていただき参加者の皆さんには感謝です。（MK）

●お世話様でした。

雨にも負けず風にも負けず、「歩こう会」は大盛況でしたね。3ヶ月分、いっぱい笑った1日でした。ありがとうございます。

草野さん、足の調子は大丈夫ですか？気持ち前は前へ前へと行くけれど、たまには足のボヤキにも耳を傾けましょうね
来月またお会いしましょう（よろしく）
（加藤英子）

●頑張った自分を誉めてあげたい！満足感の後は足腰の痛みがでます。ゆっくり歩きのおかげで、今回は3日で治まりそうです。新年会のみでの参加は寂しく、今回は風雨にめげず参加、良いチャンスでした。



ウォーキング後の慰労会も最高！歩き仲間に乾杯！久しぶりに活気のある日였습니다。（長谷川芳江）

●昨日は、お世話になりました。昨日の雨、風のおかげ!?、きょうは、秋晴れの、いい天気になりました。来月もよろしくです。（稲田伸子）

●あんな雨の中を歩いて、神社の軒下で雨を避けながら昼食、最後は庄やで反省会？思い出に残る行軍になりました。草野さん、足が完全じゃないのに頑張っていたいただき申しわけありませんでした。（浜田ふき子）

9月山行報告

■9月19日：箱根千条の滝一浅間山

参加者：稲本 曾根 豊田 浜田 浜田
松田（6名）

●箱根・千条（ちすじ）の滝・浅間山
動きの遅い14号台風の進路を数日間心配し続けた後、この日の青空は何とも素晴らしかったです。雨と風が綺麗にしてくれ

た樹々の緑が鮮やかで、吹き抜ける風が一層心地よく感じられました。「何処ぞの姫」に頂いた豊水梨が乾いた喉に美味でした！！

夏の終わりを告げるつくつく法師の合唱と、秋の到来を思わせるススキの穂波が重なって、とても印象的でした。

度々の雨に削られた悪路の下山も滑らぬ様慎重に、無事に湯本駅に到着。この日の俄かりーダーに協力くださった皆さん、有難うございました。

余っちゃったコース案内図はどうしようかな？（松田 雄二）

●「筋肉痛、今日より明日の痛さかな」久しぶりの山歩きでした。

コロナ禍、箱根湯本は人が少なく登山電 6 を車内から眺め、線路脇に植えられたアジサイ、満開の時期はきれいだろうな～と思っているうちに、小涌谷へ。駅から程なく「千条の滝」草原のような「浅間山」「みんなでわけあったひとつのアケビ」とここまではハイキング気分でしたが、帰路の湯本までの荒れた山道。山ゆりの㊦マークに惑わされず登山靴を履いてきてよかった！

苦手の下り、手、足、神経を使いながら降りました。あー疲れた。これじゃ即、筋肉痛になります。でも台風一過の青空と澄んだ空気。

紅葉にはまだ早い木々の緑と早秋の1日を満喫してきました。（稲本なお子

●箱根

小田原から登山鉄道に乗り換える時、なおちゃんを見つけて安心しました。

箱根登山鉄道は、昔、私一人で電車好きの息子たちを連れて、確か強羅まで乗ってすぐ折り返して帰った時以来でした。

ウォーキングとはいえ、けっこうアップダウンに苦勞しましたが、山気に癒されました。

総勢6名で皆様と話げできました。コロナ禍で良い一日を有難うございました。

（豊田京子）



●参加を決めた時には、小涌谷から湯河原までだと、箱根マラソンの先入観から、ほとんど、舗装道路を下る楽ちんハイキングのはず、と思い込んでいました。ところが、小涌谷から始まる湯坂路コースはハイキングというより、登り下りの多い山行。特に前日まで雨が多かった影響か山道は至るところ大きく抉られた箇所があって、歩きにくく、帰ってから数日間、左足の親指に痛

み。暫くたってから見てみると、爪の半分ほどが赤黒く変色、内出血をおこしていました。

千条（チスジ）の滝、ススキの原、あけび取り、湯坂城址跡など、見どころには事欠かない、ハイキングにはちょうど良いコースでした。ただ、道が一。6名の少数精鋭だから事なきをえたか一。（浜田）

■ 11月山行：11月21日（日）：甲州街道 相模湖-上野原 小雨決行 ㊟

5月以来の甲州街道ウォーキングです。比較的旧道が多い区間です。

・集合：中央線 8：45 高尾始発—相模湖着 8：53 で集合ください

八王子発 8：11（直通甲府）—8：28 相模湖着

8：19（高尾乗換）—高尾始発 8：45—8：53 相模湖

8：28（高尾乗換）—高尾始発 8：45—8：53 相模湖

・持ち物：お弁当、雨具ほか

■ 12月予定：12月19日（日）：東海道ウォーキング 小雨決行 ㊟

今年最後の山ゆりは10月の続きで国府津から小田原約7kmを歩きます。小田原駅で打ち上げができるといいな！

・集合：東海道線 国府津駅 朝9時30分

・持ち物：昼食弁当、雨具

あとがき

・山ゆり残すところ11月と12月の2回となりました。コロナ第6波が予想されます無事実施出来ることを願っています。家に引き込まらずに積極的に参加ください。・東京オリパラの開催は第5波を招き医療崩壊により多くの人命が失われました。政府の責任が強く問われます。2度とこのようなことがないことを祈るばかりです。・総選挙で自民党が公約に掲げている2030年度のエネルギー計画は問題が多い、現在ほとんど稼働してない老朽原発を

再稼働させて20%以上の電力を賄いさらに火力発電を40%以上維持するというものの、CO2を出さないから原発はクリーンなのか、フクシマの事故を忘れたのか、原発はダーティなエネルギーそのもの。多くの先進国が化石燃料の使用ゼロを表明している中、国連IPCCのCO2削減目標も達成出来ない日本の石炭火力発電推進は国際的に非難の的となっている。

・野党共闘勝利で政府を変えよう！

・カジノ去り横浜港は鯨日和 (M.K)